

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年9月16日		
所属学部	教育学部		
所属学科・専攻	小学校教員養成課程社会科選修	学年	3年

1. 留学先について

留学先大学名	トルコ アクデニズ大学		
留学先所属学部等	教育学部		
留学期間	出発日 2015/2/16	入学日 2015/2/18	修了日 2015/5/31 帰国日 2015/8/3
住居	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
	通学時間	20分ほど	<input type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	バス	
	部屋のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> ()人部屋 <input type="checkbox"/> 共同スペース有 (リビング) <input type="checkbox"/> 無	
食事	自炊 50 % 学食 10 % 外食 35 % その他 5 % (作ってもらった) *%で記入してください		
保険	海外旅行保険(名称)	AIU	
	大学指定の保険(名称)	<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)		
	成田	⇄	アンタルヤ(飛行機) ⇄ オトビュス(バス)

2. 留学にかかった費用について

総費用	780,000	円	* おおよそでかまいません。		
出処					
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金 200,000	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円 <input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 100,000	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 480,000	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/> その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	50,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード	円	<input type="checkbox"/> その他 ()
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他 ()			

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	現金、月100ユーロ 総額約100,000円
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

渡航費(往復)	外貨		円	150,000円
海外旅行保険	外貨		円	100,000円
OSSMA	外貨		円	20,000円
査証・在留許可証	外貨	100リラ	円	5,000円
住居	外貨	2000リラ	円	100,000円
食費	外貨	1000リラ	円	50,000円
通学に要する交通費	外貨	150リラ	円	7,500円
教科書、教材費	外貨	0	円	0円
その他大学に支払った経費	外貨	0	円	0円
光熱費	外貨	住居代に含まれていた	円	住居代に含まれていた
その他 ()	外貨		円	
その他 ()	外貨		円	

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位認定の有無
1 Teaching Turkish language and Literature for Foreigners	正規	5	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 Türk Eğitim Sistemi	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 Learning and Instruction	正規	4	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 Japonca	聴講		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
5			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

まず、自分のコーディネーター(お世話をしてくれている先生)のところで取りたい授業について話し合い、その授業の教授に確認、挨拶に行く。それからそれぞれの学部の教務課に行き、取りたい授業を説明した後登録し、授業登録の紙を出してもらい、留学生課にその紙を提出する。

3-2. 授業内容、方法に関して

基本的にはどの授業も教授がパワーポイントを使って講義を行い、生徒がそれをノートに取る、という形だった。しかし、日本の大学の講義よりも教授と学生の距離が近く、会話をしながら授業を進める、という感じであった。また、トルコ語の授業以外は日本の教育システムについて発表する場があり、パワーポイントを作成して発表した。他のトルコ人の生徒も、教育システムや授業方法についての発表などをしていった。

3-3. 語学力について

大学で開講していたトルコ語の授業だけでは足りなかったもので、家の近くの語学学校にも足をのばしていた。語学学校は月曜から木曜まで毎日1時間やっていて、トルコ語だけでなく、時間によっては英語なども学ぶことができたためよかった。あとは大学の友達やルームメイトと会話をしたり、自分が日本から持ってきていた文法書を使って勉強していた。半年で、難しくない日常会話くらいは話せるようになったと思う。

3-4. 図書館など学内施設について

私はあまり学内施設は利用しなかったが、大学の中には3つの食堂をはじめ、文房具店や小さなスーパー、携帯ショップや郵便局、数えきれないほどの飲食店、多数のテニスコートやサッカースタジアムなどもあるほど広大な敷地であった。時々それらの飲食店や食堂は利用した。特に食堂は、留学生であれば無料で利用できたのでとても良かった。

3-5. その他

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

トルコ人は本当に優しい人が多く、はじめの1か月は同じ日本人の留学生とアパートを借りて住んでいたものの、2か月目からは次の家が決まるまで友達の家で1週間ほどホームステイさせてもらったりした。それからトルコを出国するまで大学の伝手で弁護士をしていた女性とシェアハウスをした。家はとても快適で、自分の部屋もしっかりあり、飼い猫もいて、立地も大通りを通る上に大学からも近く、とても良かった。

4-2. 食生活について

できるだけ自炊をした。週に一度、家の近くでバザールとよばれる市場が開かれていたので、そこで食料を調達し、家にいるときは野菜や鶏肉、ひき肉などを使って料理をつくるようにしていた。友達と食べる時は外でケバブなどを食べていたが日本と比べるととても安く、経済的ではあった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯電話はトルコ国内であればチャージした分だけメールと電話は使える、というものを購入して使っていた。基本的にはお店や家などにはWi-Fiがあったのであまり不便はしなかったが、私はチャージした分だけ使用できるポケットWi-Fiを購入し、それを使っていたのでとても便利だった。

4-4. 服装について

私が住んでいたアンタルヤは1年中暖かかったので、夏はノースリーブに短パンの人が多く、2月ごろでも薄手のコートで十分だった。しかし、同じトルコの中でもイスタンブールなどの北の方は夏でも朝晩が冷えたりするのでパーカーやカーディガンはあったほうがいいと思う。イスラム教だから何を着たらいいかわからないという人が多いと思うが、スカーフなどを身につけていない人も意外と多いし、日本のような恰好で全然平気だった。(もちろん、服の好みは全く違い、トルコはシンプルな感じだった)

4-5. 健康管理について

私は半年間病院に行くこともなく、2、3回日本から持ってきた薬は飲んだものの、健康に過ごすことが出来た。基本的にはたくさん寝ることを心掛けた。

4-6. 保険、OSSMAの利用 * 利用実績等をご記入ください

1度も使わなかった。

4-7. 課外活動について

トルコ国内を1人で旅行したり、帰国前にはヨーロッパ(フランス、イタリア、オーストリア、ドイツ)を1人で回ったりした。もちろん1人旅は気を付けなければいけないことも多いが、それぞれの地で現地の人と触れ合ったり、自分の目でその文化を見たりしたことは本当によい経験となった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

前述したとおり、私は語学学校にも顔を出していたのでその繋がりでも友達と遊んだり、日本語とトルコ語を教えあったりした。また、大学の友達の知り合いの関係で外人や英語が堪能なトルコ人が集まるコミュニティがあり、時々カフェなどで集まってご飯を食べたり、飲んだりした。その他としては、ルームメイトとその友達と遊びに行ったりした。

4-9. 日本から持参してよかったもの

まずたこ足配線。本当に便利だった。あとは日本から持って行ったみりんや味噌などの調味料。語学関係でいえば、旅の指さし会話帳のような、よく旅先で使える単語が書いてある会話集の本。大学でもその本が会話のネタになったし、はじめはそれを使って語学の勉強にもなった。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

特になし

4-11. 現地での対人関係について(習慣の違い、マナーなど)

トルコはイスラム教国なので、1日5回のお祈り、1か月間太陽が出ている間はものを口にしないラマダン、スカーフをかぶる女性、など、日本には馴染みのない習慣がたくさんある。親の仕事や体重を聞いてくるのはコミュニケーションの一貫としてよくあるし、とてもオープンな文化なので日本人では戸惑う人も多いかもしれない。マナーに関しては、人と話すときはきちんと目を見る、食事の時は年長者が食べてから、などがあった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

5月4日～5月11日 トルコ…ブルサ、チャナツカレ、イズミル、エフェス 費用約3万円
6月14日～6月19日 トルコ…サフランボル、アンカラ、エスキシェヒル、コンヤ 費用約3万円
6月30日～7月2日 トルコ…カシュ ギリシャ…メイス島 費用約2万円
7月12日～8月3日 トルコ…イスタンブール フランス…パリ、リヨン イタリア…ミラノ、フィレンツェ、ヴェネツィア オーストリア…ウィーン ドイツ…ミュンヘン、シュトゥットガルト、ハイデルベルク、フランクフルト 費用約20万円

その他

5. 報告 *5-1~3は、年度末発行の留学報告書に掲載します。

5-1. 留学先大学について(150~200文字)

アクデニズ大学はとても広大な敷地をもっていて、大学の中に放牧施設や食堂、多数の飲食店はもちろん、郵便局やスーパー、携帯ショップなどまであり、とても便利だった。教授や学生の雰囲気もよく、親しみやすく話しかけてくれたのでとても過ごしやすかった。また、家の前から大学の中をぐるっと一周してくれる直通のバスも出ていたので、交通の便もよかった。

5-2. 留学中の様子(450~500文字)

留学中は毎日が慌ただしく、常にやることに追われていたような気がする。初めはトルコ語が全く分からず、何をすることもコミュニケーションが取れず、家や大学、居住許可書などたくさんの手続きもあり、常に周りに助けられていたように思う。大学をはじめ、徐々に生活に慣れてくると次は周りどう関わっていけばいいか、どうしたらもっと語学力が上がるか、暇な時間に何をしようか、など、考えなければならないことが無くなることはなかった。しかし、留学をしていたおかげで今までの人生の中で一番濃い半年間を過ごすことが出来たということもまた事実であると感じる。価値観や考え方が違う友達から刺激をもらい、どこを歩いても日本とは違った景色を見ることができ、1日中家にいた時でさえ、今まで実家から離れて暮らしたことが無かった私には家事という新しい経験があった。授業数が少なく、アルバイトが無かったからこそ1日1日をしっかりと向き合っ過ごすことができた。1人旅というのも初めて経験し、移動方法や宿泊場所はもちろん、地図の見方なども学ぶことが出来た。周りの人の大切さに改めて気づくことが出来た。

5-3. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

トルコの場合は、政府や警察をはじめ、都市によっても、法律への理解と対応に大きな差がある。そのため、居住許可書などに関してはしっかりと色々なところ(大使館や大学はもちろん、周りの大人に相談するとよい)に調査してから行動する必要があるので注意。しかし、それを除けばトルコは本当にいい国で、トルコ人は日本人が大好きであるために得をすることが多い。まず、なんといっても食べ物おいしいのと、物価が安いので、とても住みやすいことが挙げられる。トルコ語の文法は日本語と似ているので学びやすいし、トルコ人は少しでも困ってい人がいると「どうしたの?」と声をかけてくれる上に、日本人なら、とサービスしてくてることも少なくない。先進国すぎず、人柄の良さが表れるトルコは本当におすすめの国だと思う。

5-4. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

この半年間の留学を通して、初対面の人とコミュニケーションをとること、単語力が無くても英語やトルコ語で会話をすること、そして、半年間やりきることが出来たという自分に少し自信がついた。もし今回このような留学を経験していなかったら、大学生活をなんとなく過ごして終わってしまっていたように感じる。しかし、1日1日の大切さや普段見逃してしまいそうなひょんなことから新しく学ぶことがたくさんあり、何事にもチャレンジしようという積極性が大切だと身をもって実感することが出来た。これからは日本でもトルコにいた時のように毎日を大切に、何事にも真摯に向き合っていきたいと思う。と同時に、もう一度海外に出たいという新たな欲求が生まれたので、その目標をかなえられたら、と考えている。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2014.1作成版